

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 8月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら磐田城之崎教室 保護者等数(児童数) 回収数 33件 割合 97%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33件	件	件	件		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	30件	3件	件	件		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	31件	2件	件	件	二階がどうなっているのか気になります。	いつでも誰でも見学可能です。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	33件	件	件	件	子どもの特徴を本当に良く見て頂き、面談時にはアドバイス等も聞けて、安心感があります。	職員全体で一人一人のカンファレンスを行い、それぞれに合った目標を作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	32件	1件	件	件	いつも新しいもの、違うプログラムを用意して下さいます。多種多様なプログラムを提供していただき、カレンダーを見るのが楽しみです。	月末に翌々月の計画を立てて当日までじっくり準備しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	29件	4件	件	件	コロナ感染防止のため最大限の配慮の上、対応していただいていると思います。	児童館、公園などに出かけて同じ空間で過ごすことはあります。可能な限りで交流の機会が持てるように計画していきます。
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32件	1件	件	件		いつでも説明できる準備はしています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28件	5件	件	件	いつも連絡帳に様子を書いていただき、教室での姿が伝わってきます。連絡帳の文面がもう少しやんわり伝えてほしい時がありました。	連絡帳、送迎時、電話等で伝えていますが、保護者の立場に立った気持ちで伝えるように心がけます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31件	2件	件	件	コロナ禍なので感染防止の対応した上でお願いしています。	保護者の不安が少しでも減るようにいつでも行っていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9件	15件	7件	2件	コロナ禍なので仕方ないと思います。	感染防止の対策をした上で、開催できるように検討しています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	32件	1件	件	件		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32件	1件	件	件		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	32件	件	件	1件	ブログで活動の様子をいつも見えています。活動のポイントも書かれています。活動の振り返りも書いています。子どもから聞いた話がブログを見れば一目瞭然なので助かります。	毎月のお頼りと毎日ブログの更新をしています。
14 個人情報に十分注意しているか	33件	件	件	件			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	31件	2件	件	件		毎月のお頼りや面談時などに日々の活動や対策の周知・説明をしています。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	33件	件	件	件	学校だけでなく、放デイでの訓練は子どもたちにとって大切です。	毎月何かしらの避難訓練を行っています。避難場所となる公園にも普段から利用するようにしています。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	33件	件	件	件	先生方やお友だちと関わり合えることが嬉しく、通所が癒しとなっています。	
	18 事業所の支援に満足しているか	33件	件	件	件	異年齢交流の機会も有り難く感じています。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 8月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら磐田城之崎教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10件	件	学習と遊びでスペースを分ける時間帯がある。	
	2 職員の配置数は適切である	10件	件		送迎のタイミングで職員が少ない時間帯があるが、子どもを一つの部屋で活動させるなど、目が行き届くようにしている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8件	件		2階へ上がるための階段前の扉にベルをつけ、大人と一緒に2階へ上がるきまりを設けている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7件	件	月2回全員参加の職員会議を行って課題に取り組んでいる。	目標に対しての振り返りを職員会議棟で定期的実施する仕組みを定着させる。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10件	件		保護者の意向に対してどのように対応するかどのように支援するかより深く検討し周知する。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10件	件		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	件	10件		第3者評価機関の利用があってもいいのではないかという意見もあり、検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10件	件	毎月会議の中でテーマを決めて行っている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9件	件		アセスメントから評価までの組み立てをもう少し深くやっていく。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7件	件		アセスメントツールはあるが職員間でしっかりと使われているとは言えない。実情に合った使い易いものに改良していく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8件	件	毎月末会議の中で翌々月のプログラムを計画している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10件	件	固定するものの中でも少しずつ内容を変えている。	利用者、利用人数、季節などを考慮して作成している。好評だったプログラム、継続したいプログラムも工夫している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10件	件		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10件	件		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10件	件	午後から出勤のパートにも流れを伝える時間を取っている。	毎朝のミーティングとタイムスケジュール表と送迎表を貼りだすことで全員が周知できるようにしている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9件	1件		終了後に打ち合わせの時間がとれないため翌日の朝に行っている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10件	件	連絡帳にそれぞれの目標が記入され、利用の度毎回評価している。	日報には一人一人の様子を記入し、複写式の連絡帳も保護者の気持ちを考えながら記入する。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10件	件		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9件	件		ガイドラインをスタッフ全員が周知するように職員間で読み直す。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10件	件		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8件	件	利用予定表や送迎表の作成で、重複してチェック機能が働く。。	学校からの配布などを参考に送迎表を作成し、疑問や不安に対して早急に解決するよう、家庭との連絡がすぐとれるようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	件	件		医療的ケアが必要な子どもの利用はない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10件	件		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	件	件		障害福祉サービス事業所等へ移行する子どもの利用がまだない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10件	件		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5件	1件	児童館や公園を利用している。	障害のない子どもと活動する機会を検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	9件	1件		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10件	件	毎日連絡帳でのやり取りをしている。	送迎時の保護者とのコミュニケーションも大切にする。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7件	1件		保護者支援に対してスタッフにもっと研修をしていきたい。ペアトレを学ぶ機会をコロナ禍が落ち着いたら考えたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10件	件		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10件	件		保護者に信頼されるように努めていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5件	3件		コロナ禍もあり未実施。工夫した保護者会・参観会を実現する予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10件	件		しっかり対応しているつもりだが、至らない点や改善点を見つけ、体制の整備をしていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10件	件	月1度のお便り発行、ホームページ上のブログを毎日更新。	楽しみにして見てもらえるものを作る。
	35	個人情報に十分注意している	10件	件	シュレッダーの活用。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10件	件	連絡帳などひらがなで記入する。	言葉だけでなく可視化したものをもっと増やしていきたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3件	5件	見学者や実習生、ボランティアをいつでも受け入れている。	事業所の開かれた行事を企画・検討。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9件	件	面談時に改めて説明する。	入社間もないスタッフにも直ぐに周知させる。

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9件	1件	毎月1回プログラムに入れている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9件	1件		職員会議の中で研修を行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9件	1件		必要とした事例はないが、身体拘束について施設内で支援の統一が必要である。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8件	1件		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10件	1件	毎日順番で振り返りし、記入している。	同じことを繰り返さないよう周知徹底する。